

業種	道路改良工事	業務番号	農第5号	設計年月日	令和3年6月
工事箇所	小矢部市 金屋本江外2地区 地内				
令和3年度					
農業用水路転落防止柵設置その3工事					
小矢部市					
設計金額	工期			令和3年7月26日 令和3年11月30日	

< 理 由 >

< 概 要 >

転落防止柵設置 L=214m

特記仕様書

工事名： 農業用水路転落防止柵設置その３工事

第1条 一般

この特記仕様書は、「農林水産部 土木工事共通仕様書（富山県農林水産部）令和３年４月」によるものとし、第１編共通編 1-1-2 第８項に基づき、本工事に必要な事項について定めるものとする。

本工事の施工にあたっては、共通仕様書及び特記仕様書の他、これに付随する関係基準書等に基づいて適正に施工すること。

第2条 安全管理

工事期間中は、安全管理要員等を配置し、工事区域内全般の巡視、点検、連絡調整等を行い安全確保に努めなければならない。

第3条 安全教育・訓練の実施

- 1 労働安全衛生法等に基づき日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に工事現場に即した安全教育・訓練等を「安全教育・訓練等の実施要領」により毎月１回（半日）以上の頻度で実施するものとする。
- 2 実施項目について「土木工事共通仕様書」（富山県農林水産部）1-1-5 施工計画書の記載事項として「(10) 安全管理」に含め、「安全教育・訓練の実施要領」様式-1 により工事の内容に即した安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出するものとする。
- 3 安全・訓練等の実施については、「安全教育・訓練等の実施要領」の様式-2 により安全教育・訓練等の実施毎に記録写真等を撮影し、工事完成時に監督員に提出するものとする。

第4条 過積載防止対策

道路交通法及び道路法を遵守するとともに、過積載防止対策を記載した施工計画書を提出するものとする。

第5条 地場産品の優先使用

本工事に使用する資材等は、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には、県内産品を優先使用するものとする。

第6条 下請関係の適正化

本工事を下請に付す場合は、「施工体制の適正化及び一括下請負の禁止の徹底等について」を遵守すること。

第7条 社内検査の実施

請負者は、工事の途中段階及び完成時において、発注者の検査前に社内検査を実施するものとし、時期・内容等について施工計画書に記載すること。また、実施結果について監督員に提示するものとする。

第8条 公害防止

建設機械の搬入・搬出及び現場作業による土砂の流出等により周辺に影響を及ぼした場合は、直ちに現状に回復すること。また、本工事により周辺に影響が出ないよう配慮すること。

第9条 施工機械

1 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき、国土交通省で指定された建設機械を使用することとする。

なお、排出ガス対策型建設機械に替えて国土交通省で認定された排出ガス浄化装置を装着した建設機械についても、排出ガス対策型と同様と見なすものとする。

機種	備考
バックホウ トラクタショベル（車輪式） ブルドーザ 発動発電機（可搬式） 空気圧縮機（可搬式） 油圧ユニット類 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、 独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載する もの 油圧ハンマ・バイプロハンマ・油圧式鋼管圧入引抜機・油 圧式杭圧入引抜機・アースオーガ・オールケーシング掘削 機・リバーササーキュレーション・アースドリル・地下連 続壁施工機・全回転型オールケーシング掘削機 ローラ類 ロードローラ・タイヤローラ・振動ローラ ホイールクレーン	ディーゼルエンジン （エンジン出力 7.5kw以上260kw以 下）を搭載した建設 機械を対象とする

2 排出対策型建設機械を使用する場合は、施工計画書（富山県土木部土木工事共通仕様書 施工計画書 指定機械）の中で①機種・②メーカー名・③形式・④台数等を記載するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械をやむを得ず使用できない場合は、設計変更の対象とする。ただし、機械損料に差額のない機種についてはこの限りではない。

第10条 その他

その他、定めがない事項について疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議するものとする。

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数	0003 農 林 課 実施設計書 当初 0		
適用単価 適用単価地区 単価適用年月日	1 実施単価 27 砺波地区 0-03. 06. 15 (0)		
諸経費体系	1 農地		
	当 世 代		前 世 代
前払率 諸経費工種 電力区分（1） 電力区分（2） 豪雪地域補正 冬期労務補正 週休2日工事区分 施工地域区分 契約保証区分 消費税率（%）	40 22 道路改良工事 01 臨時低圧電力 10 他季1 01 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 12 補正無し 01 金銭的保証 10		

本工事費内訳表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							X1000
農道工事							Y1103
横断・転落防止柵設置工 市場単価方式 プレキャストコンクリートブロック建込							SSN31 0 A=3, B=6, C=3, D=2, E=2
		205	m				施工 第0-0001号表
横断・転落防止柵設置工 市場単価方式 プレキャストコンクリートブロック建込							SSN31 0 A=3, B=6, C=3, D=2, E=2
		5	m				施工 第0-0002号表
防護柵等支柱削孔工 削孔径 150mm							S0259 0 A=1
		6	本				施工 第0-0003号表
横断・転落防止柵設置工 市場単価方式 アンカーボルト固定							SSN31 0 A=4, B=8, C=3, D=2, E=2
		4	m				施工 第0-0004号表
ダンプトラック運搬（標準以外） BH 山積0.45m3 DI D区間なし 5.5km以下							S0035 0 A=3, B=12, C=2, D=1, E=1
		4	m3				施工 第0-0005号表
処分費等							#0046
公共用残土仮置場（搬入）							TST01 0
		4	m3				

小 矢 部

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
直接工事費											
共通仮設費(積上げ分)											
共通仮設費 (率分)											
共通仮設費計											
純工事費											
現場管理費											
工事原価											
一般管理費等											
工事価格											

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
消費税・地方 消費税相当額											
					式						
請負対象工事費											
工事価格計											
消費税・地方 消費税相当額											
					式						
請負対象工事費計											

小 矢 部

小 矢 部

S0259

施 工 内 訳 表

施工 第0-0003号表

頁0-0007

[名 称] 防護柵等支柱削孔工					
[規格1] 削孔径 150mm			[規格2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダイヤモンドビット φ 150mm以下 長 70mm	2.50	個			T5570
コアチューブ φ 150mm以下 長250mm	1.00	本			T5572
アダプター φ 150mm以下 長 80mm	0.50	個			T5574
土木一般世話役		人			R0047
特殊作業員		人			R0001
普通作業員		人			R0002
コア採取器 (コアボーリングマシン) 穿孔径 5～15cm 穿孔深 50cm		供用日			M3041
ガソリン レギュラー		L			T5101
合計	100	本			
単位当たり	1	本			
A=1 削孔径 150mm					

小 矢 部

施 工 内 訳 表

[名 称] 横断・転落防止柵設置工					
[規格1] 市場単価方式			[規格2] アンカーボルト固定		
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
横断・転落防止柵	1.00	m			TR154
柵設置工 アンカーボルト固定用 ビーム・パネル式 3m	1.00	m			TH422
単位当り	1	m			
A=4 アンカーボルト固定 C=3 2.0m ビーム式・パネル式 E=2 夜間作業なし			B=8 アンカーボルト固定 100m以上 D=2 時間的制約受けない		

S0035

施 工 内 訳 表

施工 第0-0005号表

頁0-0009

[名 称] ダンプトラック運搬 (標準以外)						10	m3	当り
[規格1] BH 山積0.45m3 D I D区間なし			[規格2] 5.5km以下					
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考			
ダンプトラック (オンロード・ディーゼル) 4 t 積級		供用日			M0302			
タイヤ損耗費		供用日			M9990			
軽油 1・2号		L			T5106			
一般運転手		人			R0011			
合計	10	m3						
単位当り	1	m3						
A=3 C=2 E=1	BH 山積0.45m3 4 t 積級 良好		B=12 D=1	5.5km以下 土砂				

小 矢 部

機 労 材 集 計 表

頁0-0010

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 位	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	M0302	177			供用日	ダンプトラック	運搬機械損料
2	M3041	191			供用日	コア採取器	試験測定機損料
3	M9990	198			供用日	タイヤ損耗費	機械損耗費
4	R0001	150			人	特殊作業員	公共工事設計労務単価
5	R0002	150			人	普通作業員	公共工事設計労務単価
6	R0011	150			人	一般運転手	公共工事設計労務単価
7	R0047	150			人	世話役	公共工事設計労務単価
8	T5101	132			L	ガソリン	ガソリン
9	T5106	133			L	軽油	軽油
10	T5570	181		0.15	個	ダイヤモンドビット	路盤用機械損料
11	T5572	181		0.06	本	コアチューブ	路盤用機械損料
12	T5574	181		0.03	個	アダプター	路盤用機械損料
13	TH412	200		210	m	横断・転落防止柵設置工	その他・市場単価等
14	TH422	200		4	m	横断・転落防止柵設置工	その他・市場単価等
15	TR154	55		4	m	横断・転落防止柵材料	安全防護柵類
16	TR154	55		205	m	横断・転落防止柵材料	安全防護柵類
17	TR154	55		5	m	横断・転落防止柵材料	安全防護柵類
18	TST01	110		4	m3	公共用残土仮置場（搬入）	公共用残土

小 矢 部

施工箇所一覧

施 設 名 称	施工箇所	施 工 内 容	施工延長 (m)
N4-2 排水	芹川地区	転落防止柵設置	157 m
1 号排水路	金屋本江地区	転落防止柵設置	9 m
2 号排水路	金屋本江地区	転落防止柵設置	20 m
3 号排水路	金屋本江地区	転落防止柵設置	16 m
5 号排水路	金屋本江地区	転落防止柵設置	4 m
長渡川	金屋本江地区	転落防止柵設置	4 m
排水 4 号線	石坂地区	転落防止柵設置	4 m
計			214 m

基礎ブロック $205\text{m} \div 2\text{m} = 102.5$ 個

掘削 $102.5 \text{ 個} \times 0.3 \times 0.3 \times 0.45 = 4.2\text{m}^3$

令和3年度

農業用水路転落防止柵設置その3工事

金屋本江地区

水路名称 1号排水路

水路名称 2号排水路

水路名称 3号排水路

水路名称 5号排水路

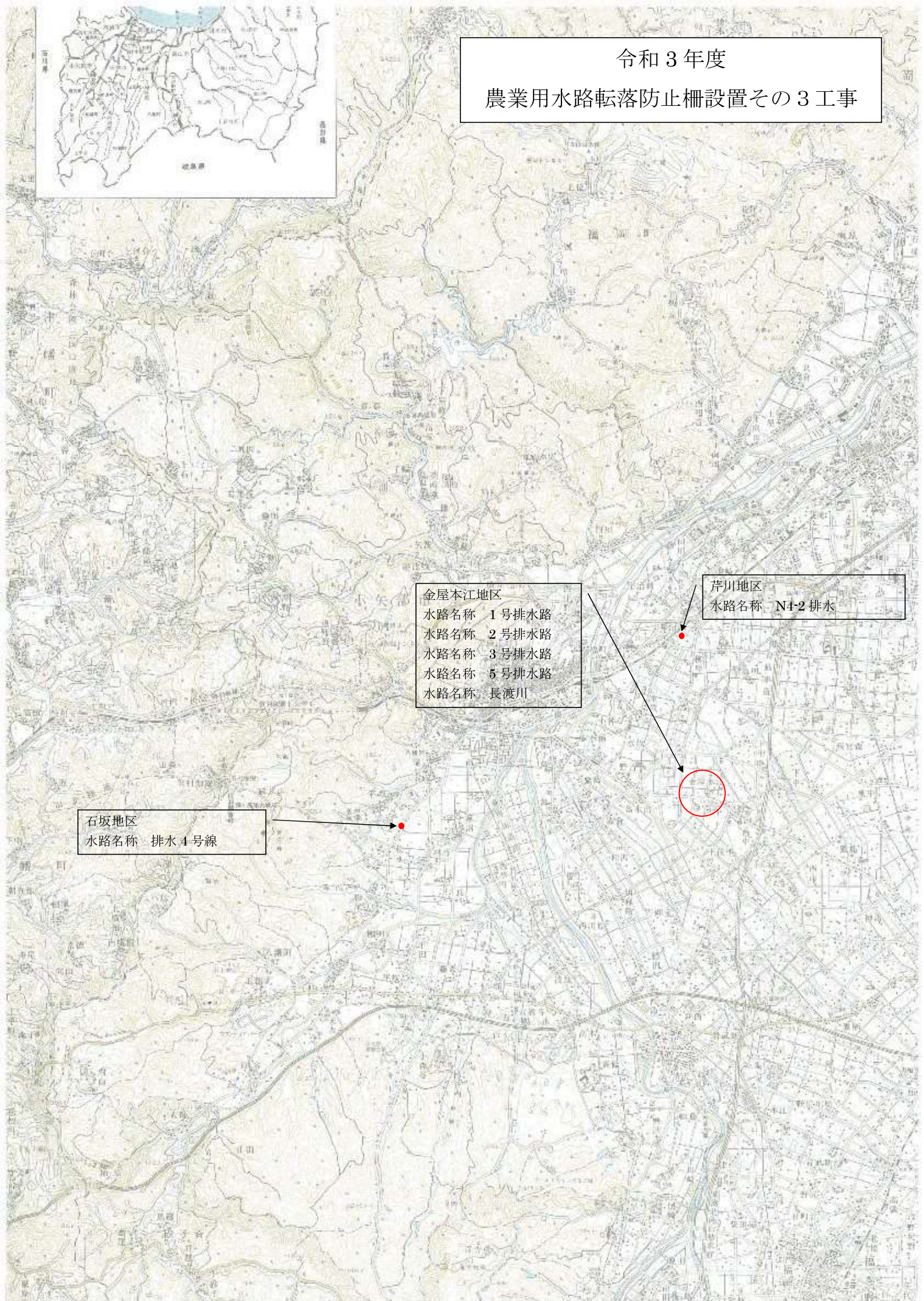
水路名称 長渡川

芹川地区

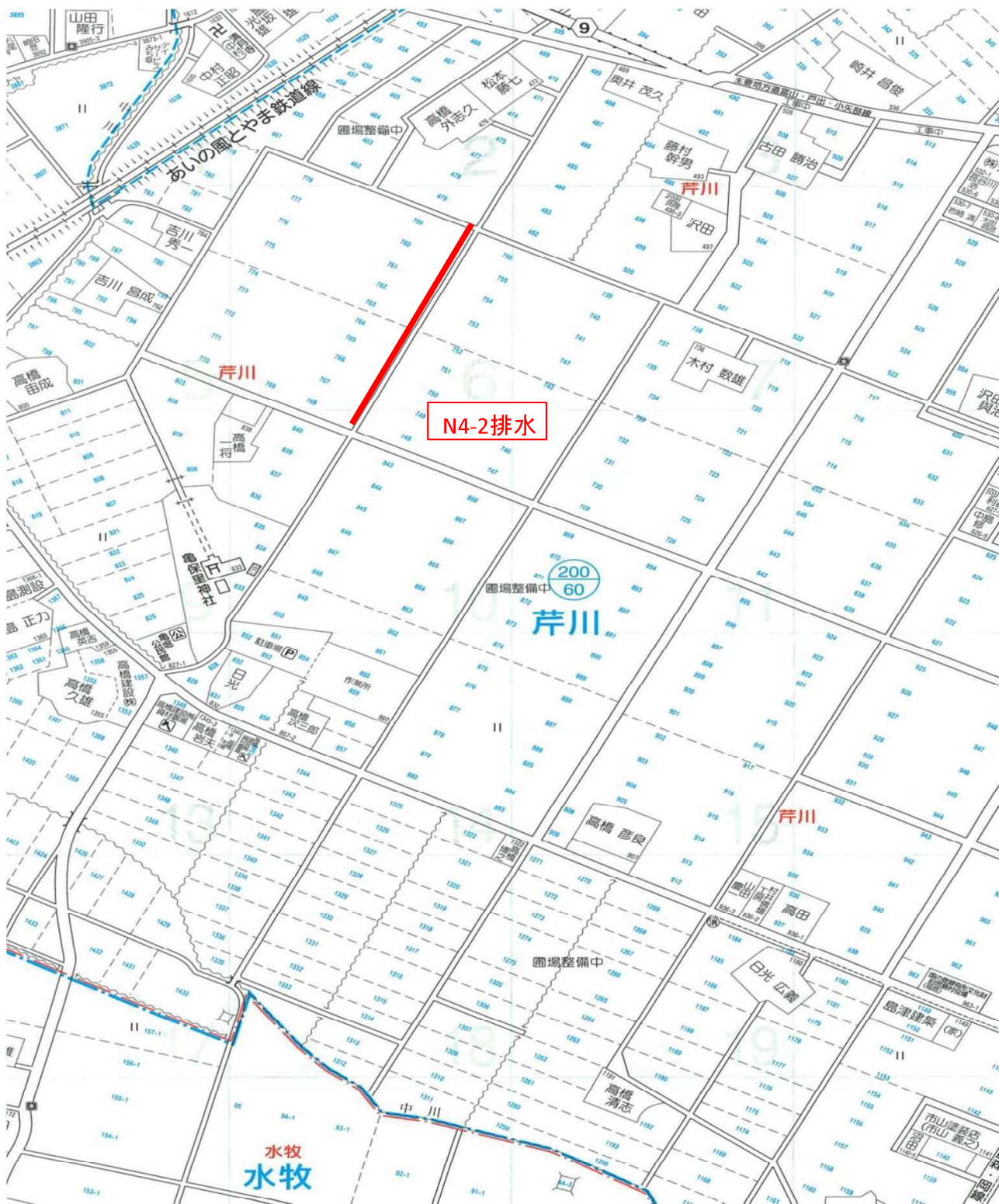
水路名称 N4-2 排水

石坂地区

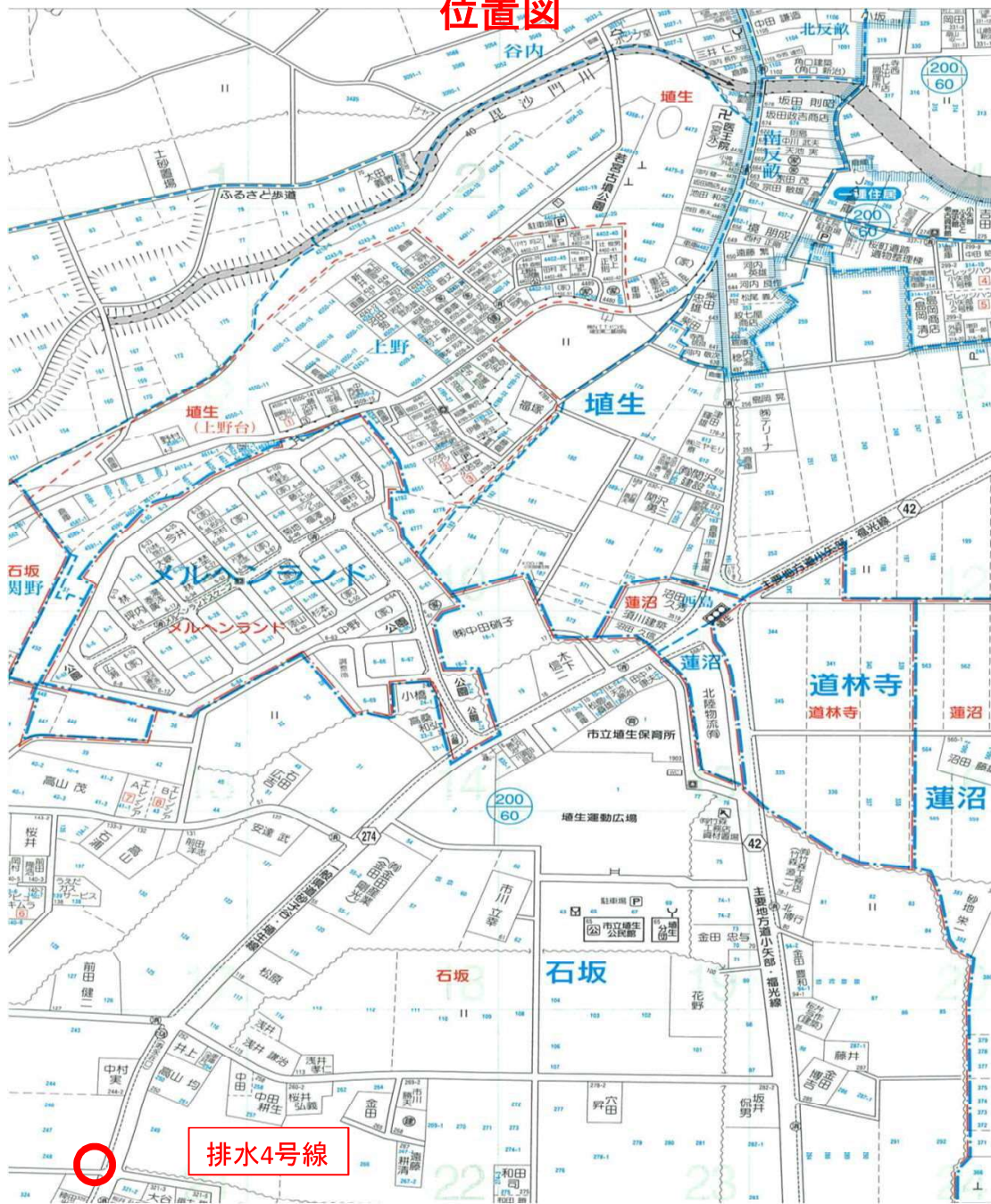
水路名称 排水4号線



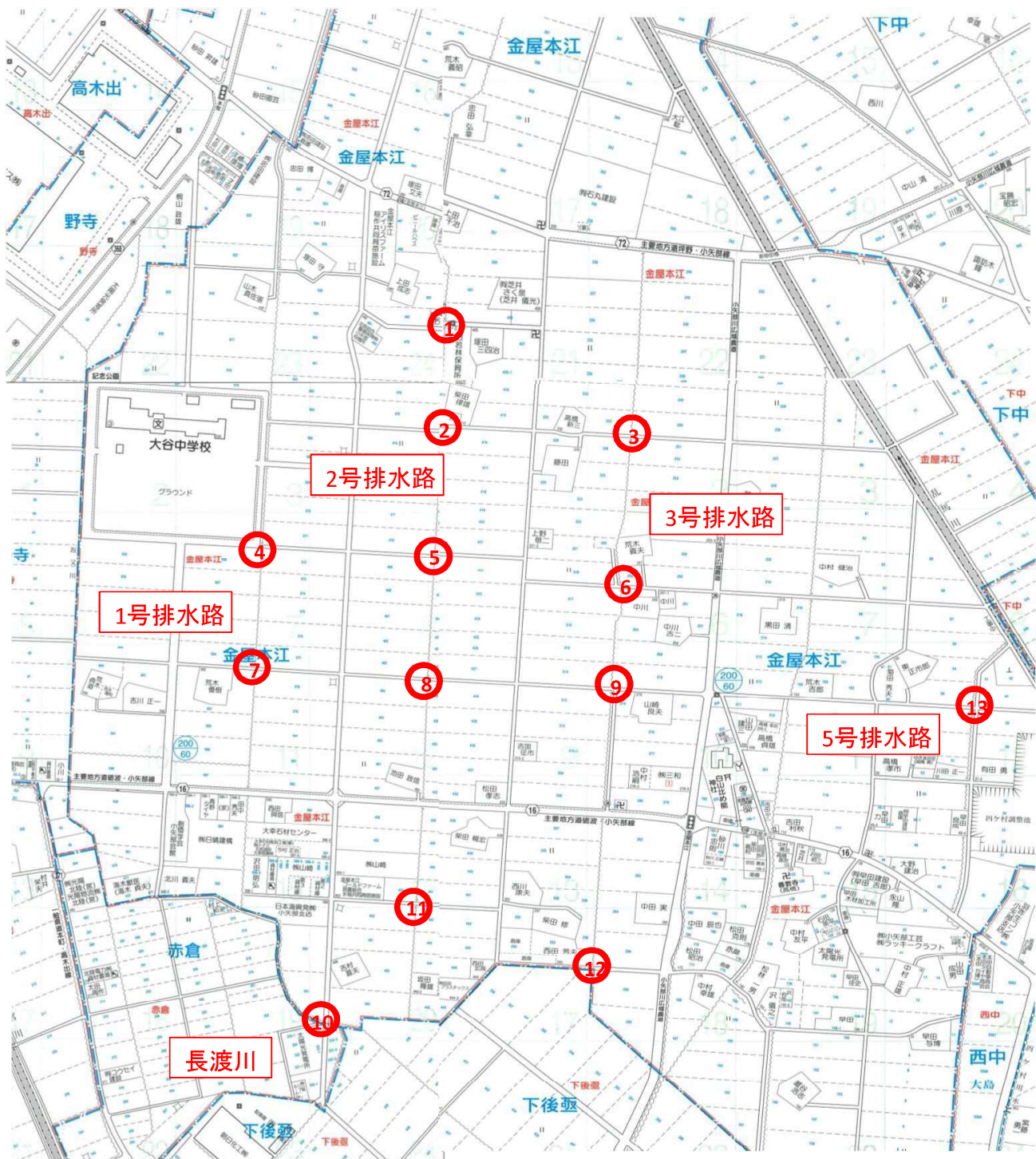
位置図

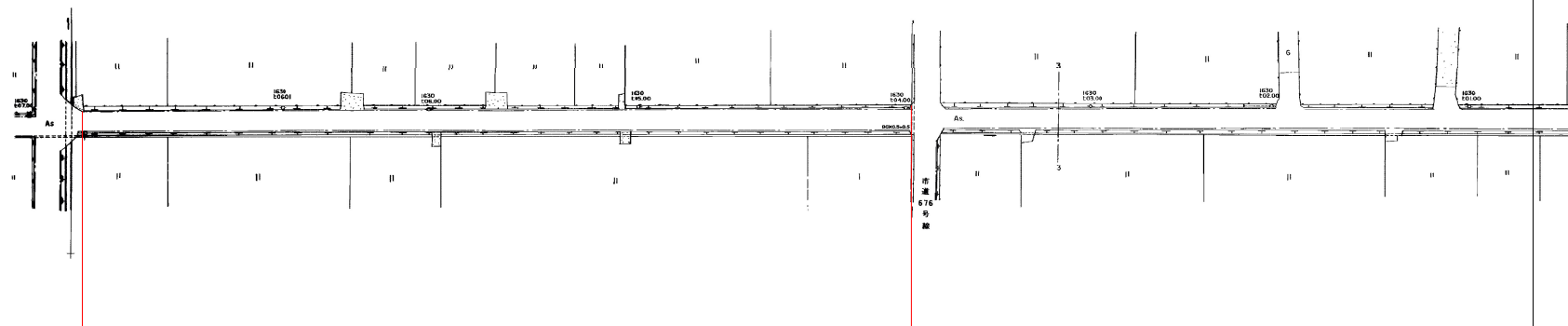


位置図



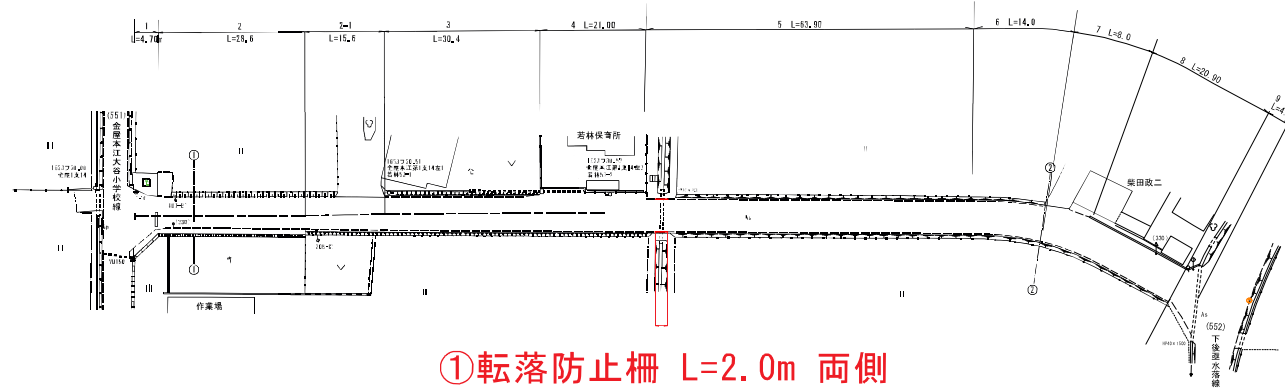
位置図





転落防止柵 L=157.0m

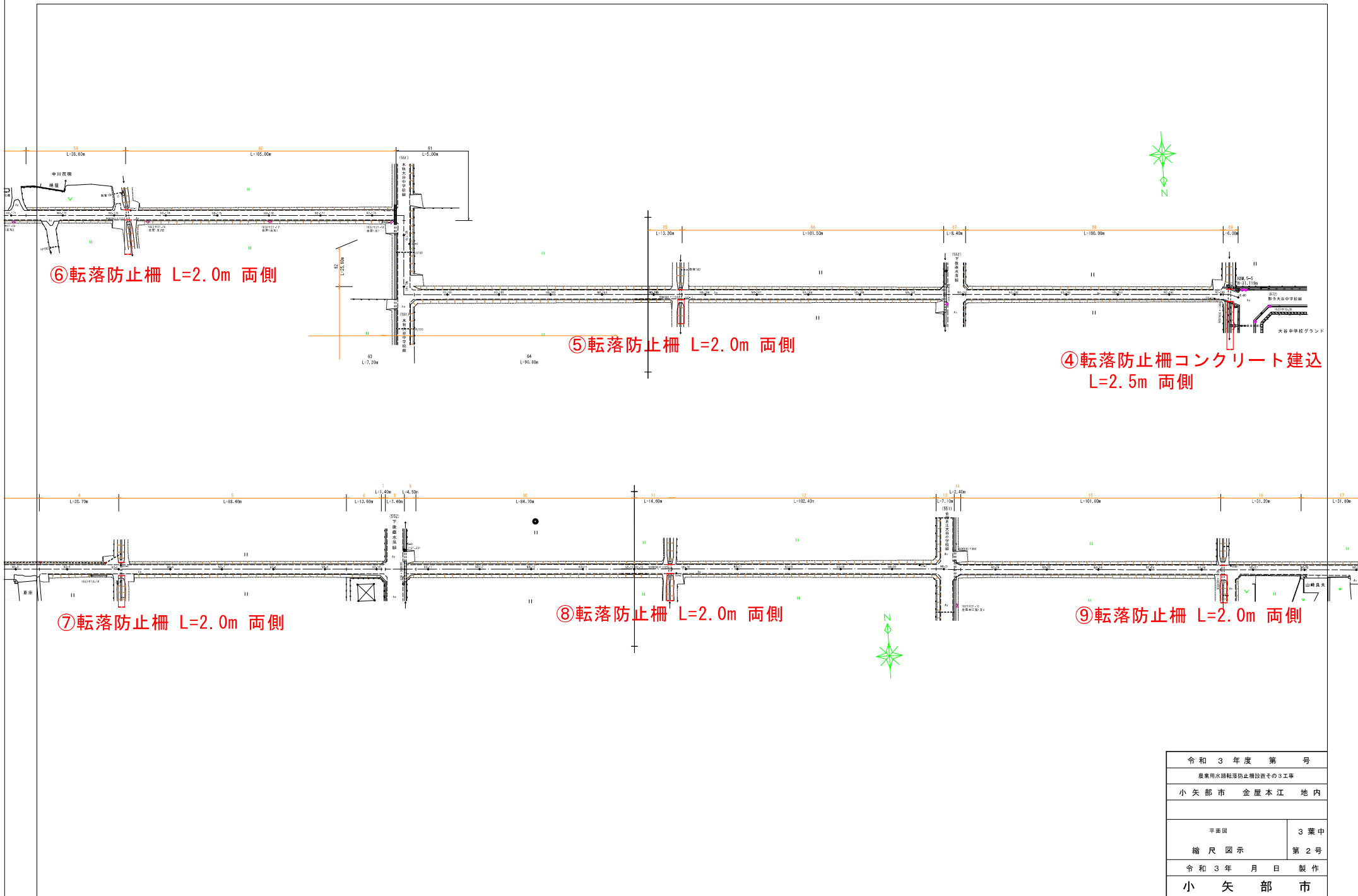
令和 3 年度 第 号	
農業用水路転落防止柵設置その3工事	
小 矢 部 市 芹 川 地 内	
N 4 - 2 排 水	
平面図	1 葉 中
縮 尺 図 示	第 1 号
令 和 3 年 月 日 製 作	
小 矢 部 市	



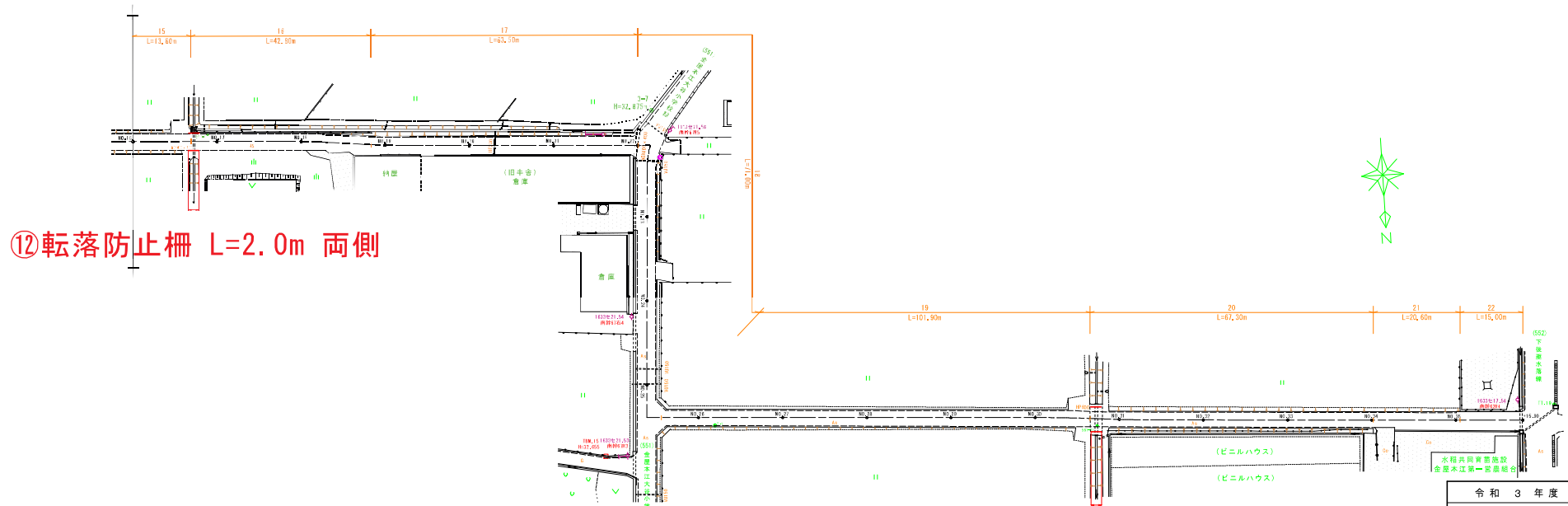
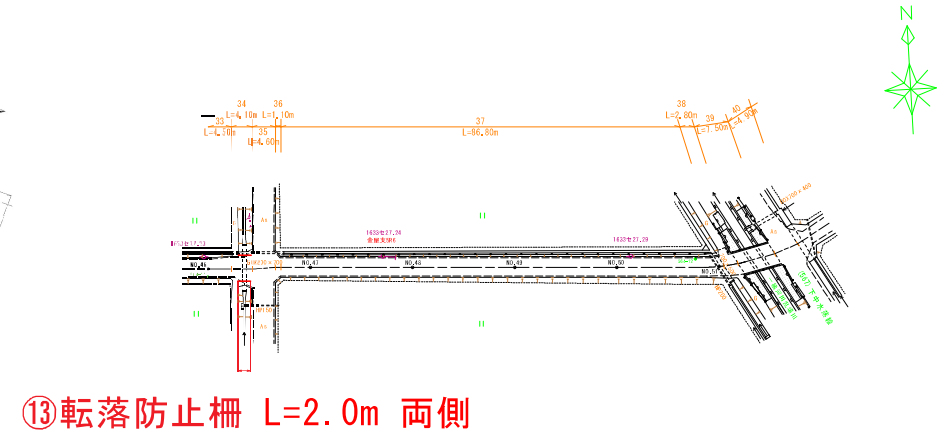
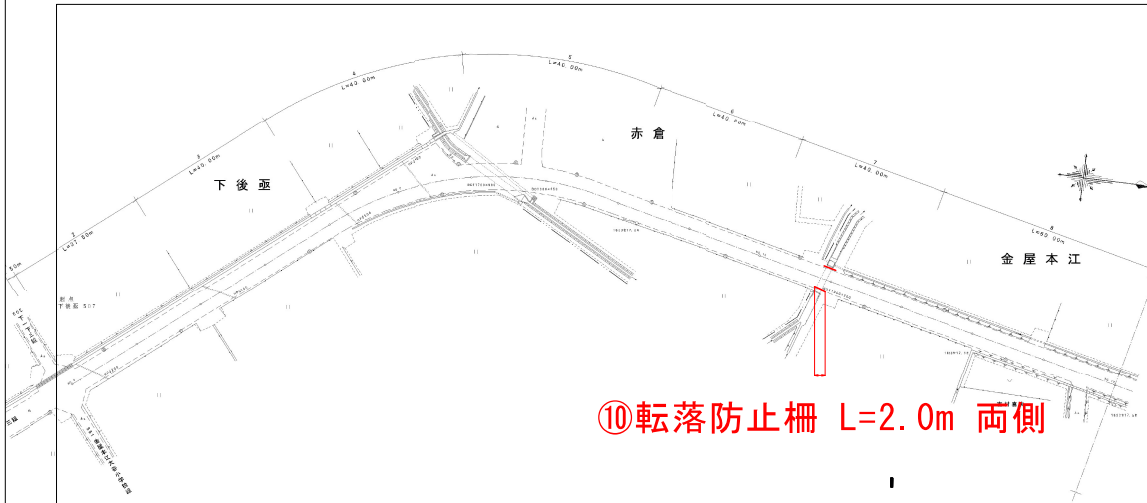
③転落防止柵基礎式 L=2.0m
ベースプレート L=2.0m

②転落防止柵基礎式 L=2.0m
ベースプレート L=2.0m

令和 3 年度 第 号	
農業用水路転落防止柵設置その3工事	
小 矢 部 市 金 屋 本 江 地 内	
平面図	3 葉 中
縮 尺 図 示	第 1 号
令 和 3 年 月 日 製 作	
小 矢 部 市	



令和 3 年 度 第 号	
農業用水路転落防止柵設置その工事	
小 矢 部 市 金 屋 本 江 地 内	
平面図	3 葉 中
縮 尺 図 示	第 2 号
令 和 3 年 月 日 製 作	
小 矢 部 市	



⑪転落防止柵 L=2.0m 両側

令和 3 年度 第 号	
農業用水路転落防止柵設置その3工事	
小 矢 部 市 金 屋 本 江 地 内	
平面図	3 葉 中
縮 尺 図 示	第 3 号
令 和 3 年 月 日 製 作	
小 矢 部 市	